

2021年7月26日

各位

株式会社北洋銀行



環境省「令和3年度 ESG 地域金融促進事業」の採択について ～第四北越銀行・千葉銀行との連携事業～

北洋銀行(頭取 安田 光春)は、TSUBASA アライアンス*参加行のうち第四北越銀行・千葉銀行と共に、環境省が実施する「令和3年度 ESG 地域金融促進事業」の支援先金融機関として採択されました。当行は、『持続的な食産業の実現に向けた3行連携による ESG 地域金融の実践』を本事業で取り組みます。

3行が地盤とする北海道・新潟県・千葉県は、それぞれが特色のある食産業を抱えており、そのサプライチェーンは、上流の農林水産業から中流の食品製造業等、下流の食品小売業等に至るまで、3行いずれにとっても地域の重要な産業となっています。3行は、それぞれの地域のステークホルダーとの連携を取りながら ESG 課題を洗い出し、協働して課題へのアプローチ手法や ESG 要素を考慮した事業性理解のモデル化を検討してまいります。

また、本事業での連携を通じて、地域の ESG 推進に貢献するサービスや商品等ソリューション提供を目指してまいります。

地銀広域連携の枠組みである「TSUBASA アライアンス」では、「TSUBASA SDGs 宣言」のもと、事業活動を通じた社会・環境問題の解決に資する取り組みを、参加各行との連携により推進しております。

当行は今後も、グループ一体となってアライアンスで連携する金融機関と知見を共有しながら、地域の社会・環境問題の解決に貢献してまいります。

※千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行および北洋銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs 宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGs に関連するプレスリリースには、該当する SDGs のアイコンを明示しております。
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。